

# セキュリティに配慮して携帯電話を選択 高度な昇降機保守作業の支援へ!



効果を上げたモバイルはこれ!

業種 **ビル設備メンテナンス**

活用分野 **エンジニアのメンテナンス業務支援、情報提供、サービス向上**

テクノロジー **au 携帯電話、BREW アプリ**



**「セキュリティを保ちつつ  
お客様サービスが向上した」**

日立ビルシステム 昇降機事業部 保全技術部 商品企画グループの元木正彦課長(左) 栗俣良之係長(右)

昇降機17万台の点検・保守に関わる高度な作業に携帯電話が活躍。携帯電話の利点に着目し業務用端末として活躍させているのは、ビル設備の総合管理を手がける日立ビルシステムである。2005年10月から昇降機のメンテナンス用端末として携帯電話を採用した。

ハンドヘルドPCで行っていた作業を携帯電話でいかに継承するかが課題とされたが、独自開発したBREWアプリがこれをクリアした。

## 9割の従来業務と新たな機能をBREWアプリで実現

旧システムではセキュリティへの配慮から通信機能を持たせておらず、現場とセンターでリアルタイムな情報のやり取りができなかった。「お客様情報を確実に守りつつ、作業の迅速性と精度向上を実現したいと考えました」と、昇降機事業部保全技術部・商品企画グループの元木正彦課長は狙いを語る。この要望に応えたのが携帯電話だったのだ。

親会社である日立製作所のデザイ

ン本部に協力を仰ぎ、業務用端末として最適化するための検証も実施した。同グループの栗俣良之係長は、「従来業務の9割をカバーし、新たな用途も追加できました」と、その成果を明かす。

## エンジニアの業務時間を短縮 さらに緊急時の迅速な対応も

エンジニアは、au 携帯電話(W22SA)で基幹システムにアクセスし、保守・点検作業に必要な各種情報を適宜取得できるようになった。

また、自社開発のマイコン通信用赤外線アダプターで、昇降機の稼働・保守データをセンターに送信し解析・診断を実施、携帯電話で撮影した作業時の写真を取り込んだ作

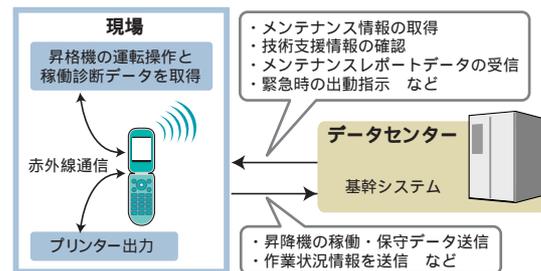
業報告書をセンター側で作成し、現場の携帯カラープリンターで出力といった活用もなされている。

セキュリティに関しては、必要な情報をその都度サーバから取り出し、当日の業務終了後に自動削除する仕組みを採用。加えて、端末の紛失・盗難時には、センター側からの遠隔操作でデータ消去を可能にした。

新システム導入後は、エンジニア1人当たり1日30分程度の業務時間短縮が実現された。また、緊急対応が必要になったときでも、位置情報機能で現場に最も近いエンジニアを派遣できるようになり、顧客サービスの面でも明確な効果が表れている。

元木課長は、「今後、BREWアプリの機能拡張、携帯電話の性能・操作性向上により、さらにサービスを強化できます」と期待している。

## 昇降機メンテナンスシステムの概要



Profile

株式会社日立ビルシステム  
http://www.hbs.co.jp/

本社所在地 東京都千代田区神田錦町1-6

設立 1956年10月1日

資本金 51億509万1000円

事業内容

エレベーター、エスカレーター、駐車場設備、冷凍空調装置、等に必要な機器の販売、据付、保守など